

1 単元 立場を決めて話し合おう

2 指導計画（7時間完了）

- (1) 学習の見通し・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1時間
- (2) 「意見こうかん会」の準備・・・・・・・・・・・・ 5時間
- (3) 「意見こうかん会」の実施・・・・・・・・・・・・ 1時間（本時）

3 本時の指導

(1) 目標

- 「意見こうかん会」で、自分と同じ考えや、自分と違う考えを聞くことで、自分の考えに広がりをもつことができる。

I C T活用のねらい
資料をプロジェクターで提示することにより、自分の考えを振り返ったり深めたりすることができるようにする。

(2) 準備

教師：パソコン・プロジェクター・スクリーン・学習プリント・フラッシュカード

(3) 指導過程

時間配分	学習活動	指導上の留意点
2分	1 本時の学習内容を知る。	○ 「意見こうかん会」では自分の考えを発言したり、相手の考えを聞いたりすることを確認する。
	めあて 「意見こうかん会」をして、自分の考えを広げよう。	
33分	2 「意見こうかん会」をする。	
	テーマ 動物園にいる動物と、自然の中にいる動物とどちらが幸せか。	
(4分)	(1) 自分の役割や考えを確認する。	○ 司会、動物園の立場、自然の立場、傍聴席の4グループの役割を「意見こうかんカード」を見て、確認させる。
(3分)	(2) それぞれの考えを順番に述べる。	○ 根拠をはっきりさせて発言することを確認する。 ○ 傍聴席の児童には、メモを取らず、話を聞くことに集中するように伝える。
(4分)	(3) 相手の意見について質問や反論を考える。	○ 事前に考えておいた質問や反論を基に、的確に分かりやすく発言できるようにまとめさせる。 ○ 大きな声ではっきりと発言させる。
(4分)	(4) 相手に質問や反論をする。	○ 伝わりにくい発言であった時は、教師が問いただしたり、整理したりして、理解しやすいようにする。 ○ 相手から出された質問や反論が何かをはっきりさせるために、教師が整理をする。整理されたポイントに対して、答えを考えさせる。 ○ 教師も、それぞれの立場に揺さぶりを掛ける（ICTを活用した資料の提示）。そうすることで、自分の考

(10分)	(5) 出された質問や反論、先生の発問への答えを考える。	えを振り返らせたり、深めさせたりする。 ○ 児童がどちらかの立場に偏っている場合は、支持されていない立場を援護するような問い掛けをする。 ○ 質問や反論に答えつつ、自分たちの考えの根拠も発言させる。
(8分)	(6) まとめの意見を述べる。	○ 傍聴席の児童全員に、「意見こうかん会」を通して自分の考えがどう深まったか発言させる。
10分	3 「意見こうかん会」を振り返る。	
(5分)	(1) 「意見こうかん会」を終えた後の、自分の立場をまとめる。	○ 自分の考えが変わったのか、変わらないのかを「意見こうかんカード」に書かせ、その理由を書かせる。 ○ 自分の考えが広がったのなら、どのように広がったのかを書かせる。
(5分)	(2) 自分の考えを発表する。	○ 「意見こうかん会」で発言の機会がなかった司会の児童を中心に発言を促すようにする。 ○ 周りの児童と少し相談する時間を取り、考えをまとめてから、発言させる。

評価事項

「意見こうかん会」で、自分と同じ考えや、自分と違う考えを聞くことで、自分の考えに広がりをもつことができる。 【発言・ワークシート】（話す・聞く能力）

□… 「意見こうかん会」で印象に残っている発言は何かを考えさえ、どうしてその発言が印象に残ったのか聞き出すことで、他の人の考えを聞くことで、自分の考えが広がったことを実感させる。

☆… 自分の考えがどうして広がったのか、どう広がったのかを考えさせるようにする。その際、根拠や理由をはっきりさせて話すことができるようにする。